

☆体験授業の概要☆

①音声学 『アメリカ人の話す日本語から英語の発音を学ぼう!!』 【教授 戸高 裕一】

大学で英語を指導している際に学生からよく質問されるのは、「先生、どのようにしたらアメリカ人のような発音ができるようになるのですか」である。そのような場合には、逆にアメリカ人はどうして日本語を話す時に私たちとは違う話し方をするのかを聞いている。実はアメリカ人が話す日本語には英語発音習得の大きなヒントが隠されている。

本講義では、アメリカ人が話す日本語を音声学の観点から分析し、英語の発音の特徴を理解する。また、高校生活でも応用できる発音練習法について話をします。

② English (英語) 『Working Together for Literacy & Fluency』 【教授 Hugh Nicoll】

Please join this workshop if you are interested in thinking about how teachers and students can work together to develop literacy and fluency in English. We will talk about the ways we are working to help our students at MMU develop their reading, writing, listening, and speaking skills; and why working together to understand literacy and literacy skills is so important.

③マス・コミュニケーション論 『実践！メディア・リテラシー ～映像を読み解く～』 【准教授 四方 由美】

メディア・リテラシーとは、「メディアを読み解く能力」で、新聞、テレビ、インターネットなど、たくさんのメディアによって情報が行き交っている情報化社会に生きる私たちにとって必要不可欠なものです。

この授業では、映像を使ってメディア・リテラシーを実践的に学ぶ体験をします。これまでと違った映像の見方ができるようになるかもしれません。一緒に楽しく勉強しましょう！

④出版文化論 『「サザエさん」に見る戦後の出版文化』 【准教授 阪本 博志】

現在テレビで放映されているアニメ『サザエさん』は、もともとは1946年から1974年まで新聞に連載され、国民的に愛読された4コマ漫画です。『サザエさん』が連載されていたこの期間は、高度成長などをおして日本社会が大きく変動した時代です。掲載期間が長いゆえに、当時の人びとの模様が描きこまれた『サザエさん』の4コマ漫画からは、その当時の文化や社会の模様をうかがうことができます。

今回は、『サザエさん』のなかで、サザエさんたちがどのように雑誌に接しているのかに着眼することから、戦後の出版文化とりわけ雑誌文化について考えていきたいと思います。

⑤行政論、地方自治論 『市町村行政の仕組みー保育所不足をどうするかー』 【教授 有馬 晋作】

行政というと大変難しい感じがしますが、身近な行政である市町村をみると、水道、ごみ処理、保育所、小学校など様々な行政サービスを提供しており、皆さんの一生にわたって関係があるものです。その意味でも、行政の仕組みを理解することは、実社会に出てから大変役立つことがあります。

この体験授業では、身近でありながら若い人にとって大きな問題である保育所の不足を取り上げて、具体的に、市町村行政が、どのような仕組みになっているか、法律の視点も入れて授業します。